



横浜市は、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」を目指しています。市内の温室効果ガス排出量は年々減少傾向にありますが、家庭部門からの排出はほぼ一定となっており、自分ごととして温室効果ガスの削減に取り組むことが重要です。

また、近年、気候変動の現状や気候危機をアートで表現する動きが見られ、このような動きを通じて気候変動を身近に感じ、自分ごととして取り組むきっかけになることが期待されます。

このような背景を踏まえ、カーボンニュートラルを「自分ごと」にするためのアートの可能性を考えるためのワークショップを開催します。

「
気候変動×アート」ワークショップ
を「自分ごと」にするためのアートの可能性を探る

第1回

気候・環境とのつながりを自分ごとに

現在の地球×アートの可能性を考える

日時：2023年2月20日（月）18：00～20：00

第2回

気候変動・気候危機を自分ごとに

未来の地球×アートの可能性を考える

日時：2023年3月28日（火）18：00～20：00

【参加人数】20名（無料・事前申込制・先着順）

【会場】BankART Station

横浜市西区みなとみらい5-1 新高島駅B1F

<http://www.bankart1929.com>

【プログラム】

第1回

2023年2月20日（月）18：00～20：00

現在の地球×アートの可能性を考える ～気候・環境とのつながりを自分ごとに～

① 話題提供：

- ・気候変動をめぐる動き、ワークショップの趣旨説明（横浜市）
- ・気候変動をめぐるアートの動向（黒沢聖覇氏／金沢21世紀美術館アシスタントキュレーター）
- ・海面上昇の現場 ～地球温暖化でおきていること～
（三村信男氏／気候変動影響予測・適応評価の総合的研究（S-18）プロジェクトリーダー、茨城大学地球・地域環境共創機構特命教授）

② 深掘りラウンドテーブル：

- ・気候・環境・地球とのつながりを「自分ごと」にするアートの力とは？

第2回

2023年3月28日（火）18：00～20：00

未来の地球×アートの可能性を考える ～気候変動・気候危機を自分ごとに～

① 話題提供：

- ・気候変動影響・対策効果（緩和・適応）に関する知見
- ・国内外での気候変動影響の実例
- ・気候変動・気候危機を感じられる事例
（気候変動影響予測・適応評価の総合的研究（S-18）研究チーム）

② 深掘りラウンドテーブル：

- ・気候変動・気候危機を「自分ごと」にするアートの力とは？

【詳細・参加申込方法】

こちらよりご確認ください

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/art-zcyokohama.html>



【お問合せ先】 横浜市温暖化対策統括本部調整課 on-chosei@city.yokohama.jp